

柔軟かつ効果的な活用を

AIFNが教育セミナー



AIFN（国際栄養食品協会）は16日、都内で第3回教育セミナーを開催。昨年厚生労働省が策定した日本人の食事摂取基準（2010年版）の要点や活用方法について、国立健康・栄養研究所の森田明美氏による講演などが行われた。

森田氏は、10年版食事摂取基準は05年版を基本としており大きくは変わっていないと述べる一方、生活習慣病の一次予防の当面の目標として定めた目標量について、05年

栄養研・森田氏が講演

サプリの過剰摂取指摘

版は意味合いが違ふ設定も一部行われ混乱したため、せたと述べた。個別栄養素

では、05年版で目安量を設定したカルシウムについて、エビテンスの蓄積もあり必要量の摂取が生活習慣病の予防になるとの考えから、推奨平均必要量、推奨量を算定したと説明。ピタミンCも同様の考えで算定したと語った。

景表法テーマに講演

健全協が研修会を開催

宣伝講習販売事業者の業界団体・健康産業全国協議会（健全協）は22日、「第40回研修会」を開催した。当日は顧問弁護士の千原曜氏が「景品表示法に抵触しないためのアドバイス」と題して講演した。

同氏は、「商品の購入者全員にプレゼント」「先着〇〇名に金品をプレゼント」など、懸賞によらずに一般消費者に対して提供する景品類「総付（そづつけ）景品」について、取引価格が1000円未満の場合、

景品類の最高額が2000円、1000円以上の場合最高額が取引価格の20%と定められていると解説。宣講取でも景品類が提供される例もあり、会場からは質問が相次いだ。優良認定表示など不当な表示に関しては特商法の不実告知とり

など実際の活用にあたっては、対象者の栄養素が欠乏しているかを確認し、欠乏してなければ必ずしも各栄養素で掲げる数字に捉われず、柔軟かつ効果的に活用して欲しいとサプリメン

沖縄で健食フオーラム開催

社福協

「健食フオーラム」が、5月13日に沖縄で開催される。沖縄の健康と課題を挑戦と課題を名称も「健康Min OKにした。東京様、有識者にネルティスカい、テーマの

4月から受付が開始される予定の健康食品の品質に関する第3者認証システム「ハイクオリティ認証」について、事前申し込みが100件以上上っていることが分かった。同認証で活用されることになるナチュラルメディアシン・テータベースを運営するNMIJの宇野文博社長が18日、健康博覧会内のセミナーで述べた。